

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

2023年 6月 13日

都道府県知事
大野 元裕 殿



提出者

住 所 埼玉県八潮市南川崎845番
氏 名 医療法人社団 協友会 八潮中央総合病院
理事長 平岡 邦彦
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 048-996-1131

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	医療法人社団 協友会 八潮中央総合病院
事業場の所在地	埼玉県八潮市南川崎845番地
計画期間	2023年4月1日 から 2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	医療業
② 事業の規模	病床数 250床 診療科 27科 人工透析
③ 従業員数	550名 (概算)
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	八潮中央総合病院 → 運送 メディカルサービス(株) → 一時処理 群馬環境リサイクルセンター(株) → 最終処分 ひめゆり総業(株)

(日本工業規格 A列4番)

7

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

医療機関管理者 院長 [REDACTED]

特別管理産業廃棄物管理責任者 検査科 科長 [REDACTED]

院内清掃業者 [REDACTED]

収集運搬業者 メディカルサービス株式会社

中間処理業者 群馬環境リサイクルセンター

最終処分業者 ひめゆり総業株式会社

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度（2022年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性医療廃棄物	
① 現状	排 出 量	121.824 t	t
	(これまでに実施した取組) 感染性廃棄物と一緒に廃棄されていた非感染性の廃プラスチックを分別し固形燃料化するリサイクルを推進しております。 また、廃棄物の分別をより一層厳格に実施し排出量の抑制に努めます。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	排 出 量	49 t	t
	(今後実施する予定の取組) 感染予防に支障を来さない程度に廃棄物排出の削減を啓発致します。また、物品の使用にも注意を促し排出量を根本から低減させるよう取り組み致します。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 感染性廃棄物を法令に基づき3種類に分別し、容器を色分けすることで分別を間違いにくくしております。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記取組に加え院内にて感染予防対策委員会の定期見回りを行い廃棄物が正しく分別され廃棄しているかを確認しております。

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（2022度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性医療廃棄物	
	全処理委託量	121.824 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 委託業者の法令順守状況の確認に注力しております。(契約書類の定期的な見直し・収集運搬等許可証の更新状況や最終処分場の確認など)		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性医療廃棄物	
	全処理委託量	49 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>地域住民の認知により患者数が増加した。その為使用する医療器具や物品も増えたことにより廃棄物が増加した。また、感染症の流行が発生すると予防的見地から通常時より多く使い捨て診療材料が増加するため排出量が増加する傾向がある。感染症蔓延のリスクに注意しつつ削減を図る。</p>			
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度(2022年度)実績】		
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	121.824 t	
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>現在、医療廃棄物のみ電子マニフェストによる報告を行っております。その他の特別管理産業廃棄物については収集運搬業者、中間処理施設及び最終処分業者と打ち合わせの上、今年度中に電子マニフェストでの報告にむけて取り組み中です。</p>		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。